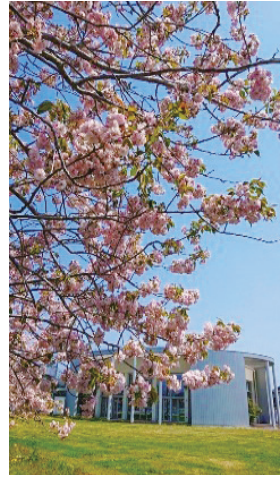


坂下だより

隔月25日発行
発行所 坂下地区コミュニティ推進會
編集者 調査広報部
TEL 52-3155
FAX 53-9122
<http://www.net1.jway.ne.jp/hitachi-minami/>



コミ推
HP



新年度のスタートにあたって

坂下地区コミュニティ推進會

会長 大貫 健

皆さまこんにちは、初夏のおとずれを感じる風に青葉が薫り、だいぶ過ごしやすくなりました。いかがが過ごしでしょうか。

先月4月13日に、坂下地区の皆さまご協力のもと育てた久慈川の河川敷の菜の花畑が、黄色の菜の花で埋め尽くされる中、菜の花まつりが盛大に開催されました。

当日は寒い日でしたが、多くの観客に楽しんでいただきました。

その中で、私自身も旧東小沢小学校の伝統を引き継いだ、菜風蓮での創作太鼓の演技を披露させていただきました。少し祭りに華を添えることができました。

さて、この様な中、坂下地区コミュニティ推進會におきましては、去る4月12日に総會が93人の出席者のもと盛大に開催され、令和7新年度のスタートを切ることができました。今年度の事業方針を以下、申し上げます。

急速な少子化高齢化により、コミュニティ推進會の基盤である、自治會・町内會の解散や退會がみられる中、今年こそ、将来の担い手になる若い世代にもバトンタッチできる「ふるさと坂下」づくりを開始する新たな一年にしたいと思ひます。

そのためには、まず、坂下地区コミュニティ推進會及び支部の見直し改編、効率化を図ることから進めてまいります。

皆さま、ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

また、今年度は事業・予算の審議に加え、役員改選も行われました。新年度のフレッシュな役員と共に、私自身3期目を頑張る所存でございます。皆様、引き続き温かなご支援・ご協力宜しくお願ひいたします。

結びに、皆様およびご家族のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

各地区支部長

支部名	支部長氏名
大 橋	本田 一郎
田中内	大内 直文
茂 宮	大貫 豊彦
石名坂	大貫 光則
石 団	糸賀真貴子
赤羽根	中畑 久夫
南 団	戸田 潔
市営 AP	嶋 敏勝
南高野	椎名 宏
久慈団	安島 秀彦
上神田	大貫 勝浩
下神田	萩谷 高行
下土木内	武藤 幸男
児 島	高野 一夫
留	大内 清孝



総會の様子と新役員の皆さんの集合写真です。雨の為、屋内撮影でした。



《令和7年度役員・支部長紹介》

(以下敬称略)

顧問 大塚 雅夫
会長 大貫 健
副会長 矢板 久 (総務部)

〃 大貫 光貴 (総務部・生涯学習)
〃 吉村 徹也 (調査広報部)
〃 武藤 公男 (環境美化部)
〃 鈴木 勝治 (文化部)
〃 金澤 章 (体育部)

〃 鈴木 弘 (青少年育成部)
〃 宮田 芳輝 (防災防犯部)
〃 橋本 昌知 (地域福祉局)
〃 小室 邦治 大貫 純市

監査 《坂下地区委員の紹介》

◎土木委員

菊地 清秀 (令和6年度及び7年度)
(大橋・田中内・茂宮地区)

吉田 浩 (石名坂地区)
星野 博 (南高野・久慈団地)

大貫 雅裕 (東小沢地区)

◎消費生活サポーター

◎地域福祉推進委員 石川 創一

◎スポーツ推進委員

◎行政相談員 小森 利朗

◎行政相談員

井坂 誠 佐藤 淳 照沼 洋 小林 れい子

《今年度の主な行事予定》

実施日が変更になる場合があります

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
福祉局全体会	南部地区交流スポーツ大会	地区懇談会 新春ボウリング大会 あすを担う青少年を みんなで育てる集い	親と子のセミナー センター全館清掃 マンドリンコンサート	地区懇談会 朗読会	文化・芸能発表会 ブラスバンドコンサート グラウンドゴルフ大会・団体	元気っこ体験広場	元気っこ体験広場 坂下地区クリンデー	夏の下校見守り活動 自主防災訓練 地区懇談会 カンナ育成調査	安心安全サポーター連絡会全体会 ボランティア交流会 ソフトボール大会	第1回役員支部長会議 ゴーヤの種配布	あいさつ声かけ運動 コミュニティ推進会総会 生涯学習朗読会

令和7年度

坂下地区コミュニティ推進会予算

坂下地区コミュニティ推進会総会で承認された令和7年度予算です。

収入の部（単位 円）

繰越金	451,674
市補助金	1,754,000
広報補助金	200,000
再生報奨金	800,000
募金補助金	66,000
収益金	36,000
雑入	60,432
合計	3,368,106

支出の部（単位 円）

運営費	150,000
事業費（各部活動費）	2,202,232
広報紙梱包費	100,000
広報紙配布費	100,000
再生資源配分費	100,000
予備費	15,874
合計	3,368,106

不法投棄監視員担当地区一覧

氏 名 (支 部)	電話番号	担当地区
大砂 武信 (茂 宮)	54 - 0637	大橋・田中内・茂宮
木梨 博文 (石名坂)	53 - 9920	石名坂・石名坂団地 赤羽根団地
下口 勉 (南高野)	53 - 0927	南高野・南高野団地 市営 AP・久慈団地
武藤 公男 (下土木内)	53 - 0300	上神田・下神田・下土木内
川崎 弘幸 (留)	52 - 1856	児島・留

【日立市立坂本東小学区人口】

世帯数 4,581 世帯
総人口 9,480 人
(男) 4,693 人
(女) 4,787 人
(令和7年4月1日現在)

坂下地区コミュニティ推進会

久慈川日立南交流センター内
日立市大和田町2208
TEL 52-3155
FAX 53-9122

メール

hitachi-minami@net1.
jway.ne.jp

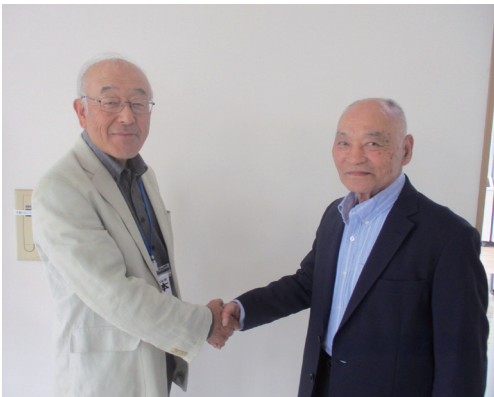
HP

http://www.net1.jway.
ne.jp/hitachi-minami/

地域福祉局

吉成秀昭局長退任

地域福祉局長として10年にわたり福祉活動に貢献された吉成秀昭さんがこの3月をもって退任されました。吉成さんは民生委員として活動された経験を活かし、地域福祉活動のリーダーとして職責を果たされました。吉成さん、長い間有難うございました。



橋本さん（左）と吉成さん（右）

後任として橋本昌知（はしもとまさとも）さんが4月1日より新局長の任に就かれました。橋本さんは日立市消防署員として定年まで勤務されました。当時から青少年活動にも熱心に取り組まれ、現在は保護者として活動されています。橋本さん、これからも宜しくお願いたします。

朗読会「お蔭と茂兵衛」

生涯学習担当 大貫 光貴

生涯学習事業では4月26日(土)に、今年度第一回目となる事業を開催しました。当日は予定人数の60人を超える、多くの皆様にご参加いただきました。次の文章は事業担当の大貫さんの報告です。

* * *

今回、人生で初めて朗読会に参加させていただきました。多少の緊張と高揚感を持ちながら開幕を待っていました。

演者は女性2人と男性2人と三味線演奏者の5人構成でした。

三味線の音色と共に静かに朗読会が始まりました。演者の話すセリフは演じる役柄の気持ちの表し方や動いている様子なども口調や声量の大小で細かく表現され情景が容易に想像できました。また、朗読に合わせて流れる三味線の演奏が演者のセリフを際立たせ、観客たちの心をグッと演劇の中に引き込んでいました。

1時間の演目でしたが終始ステーションから目が離せませんでした。初めての朗読会は私に感動と次回の演目を楽しみにする事で幕を閉じました。



会場は大盛況でした。初めて朗読を聴く方も多く、熱演に魅了されました。

久慈川菜の花まつり

春の訪れを告げるまつりです

菜の花エコネットワーク

推進会事務局

3月29日(土)に予定されていた久慈川菜の花まつりですが、今年の冬の寒さがたいへん厳しく、菜の花の生育が十分ではありませんでした。担当者が協議の結果、2週間後の4月13日(日)に延期して実施しました。

当日は朝のうちは小雨が降り、空模様をにらみながらの開催となりました。最近では菜の花の観賞だけではなく、お子様向けのシャボン玉やお菓子のつかみ取り、プルタブの小物作り、そして地元菜風蓮(さいふうれん)の皆さんの和太鼓と盛りだくさんの内容となっています。

お昼近くには小雨が降りだし、予定を早めての閉会となりましたが、例年になく多くの参加者があり、楽しい春のひと時となりました。



当日はあいにくの天気でしたが、太鼓の音に励まされ、子供たちの笑顔にホッとしました。

令和7年度のスタート

各部が総会を開催

令和7年度が4月に始まり、冒頭でもお知らせしましたようにコミュニティ推進会をはじめ各部の総会が行われました。実施日は次のようになります。

各部総会 一覧

実施日はすべて4月です。

体育振興会	5日(土)
コミュニティ推進会	12日(土)
防災防犯協議会	12日(土)
文化協会	14日(月)
環境美化推進会	20日(日)
* * *	
交流センター総会	25日(金)

右の一覧の下にあります交流センター総会につきましてご紹介したいと思います。

コミュニティ推進会の総会と同じく交流センターの総会も毎年この時期に開かれます。

なお、調査広報部の総会は5月15日(木)に行われました。

青少年育成部の総会は5月31日(土)に行われます。

交流センター運営委員会総会

運営委員会 事務局

交流センター運営委員会はセンターの運営に関する予算の執行と施設の拡充を主に審議し、4月と11月の2回開催しています。

構成はコミュニティ推進会から4名、利用者団体から3名、地区中学校長2名、会計監査2名、民生委員高齢者団体、ボランティア団体各1名となっています。

センター利用のきまりや草刈り及びセンター利用状況等についてご意見やご質問をお伺いしています。

センターの円滑な運営のために今後も活動をしてまいります。



第1回総会の様子です。

水芭蕉が届きました



木梨会長(左)とスタッフの方です。

赤羽緑地を守る会(木梨博文会長)から今年も水芭蕉が届きました。今年も玄関前に飾らせていただきました。

守る会の皆さんは緑地内の池や多くの花壇の管理を積極的に進めていらっしゃいます。



センターでSDGs推進

交流センターでは持続可能な社会活動の一環として、家庭廃油、小型家電、ペットボトル、そして紙箱類の回収を行っています。回収ボックスはすべて正面玄関にありますのでご利用ください。



家庭廃油は購入時に入っていたボトルに入れたままで処理できます。